わたし、アナタ、min-na　No.10

そのすがたがうれしい

2017年1月24日　市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/

＜海外研修旅行特集その2！！＞

年末年始にSSHとSGHの取り組みとして4,5年生の希望者はタイ、ベトナム、ドイツへそれぞれ海外研修旅行に行きました。今号では、引率の先生方からその様子を紹介してもらいます。

＜タイ＞

12 月 20～25 日、４年生２名がタイ・日本高校生情報通信技術フェアに参加するため、タイのプリンセス チュラボーン　サイエンスハイスクールチョンブリ校を訪問しました。放課後ユニットの活動で製作しているレスキューロボットを持参し、ポスター、パワーポイントを用いた２種類のプレゼンテーションで、自分たちの取組やその成果を英語で発表しました。また、ロボット工学についてのワークショップでは、両国の生徒が協力しながらロボットを作りました。参加生徒２名は、取組の成果と課題を実感し、科学に興味をもつ高校生との交流や異文化理解など今後にも繋がる貴重な経験をしました。今回の研修参加を支えてくださった多くの方々に感謝しています。ありがとうございました。

＜ベトナム＞

１月５日から 12 日まで７泊８日の日程で、４・５年生 33 名の生徒がＳＧＨベトナム研修（５年生の一部はフィールドワーク「グローバルリサーチ研修」履修）に参加しました。この研修は開成高校ＳＧＨから数えて４回目であり、全国のＳＧＨ指定校からもベトナムとの提携が注目されています。この研修では姉妹校であり６月に本校でも迎えたチャンダイニア特別校との交流やホームステイに加え、ベトナムで事業展開する日本企業やベトナム人対象の日本語学校での研修やベトナム戦争の爪痕も生々しい史跡の見学を通して、生徒はベトナムの歴史や文化の理解を深めるとともに、国際舞台で活躍するグローバル人としての基本的姿勢を学ぶことができました。

＜ドイツ＞

１月７日から 13 日まで５年生７名の生徒が SSH ドイツプロジェクトに参加しました。この研修では、“持続可能な社会”というテーマで、環境やエコといった視点から様々な学習をしました。研修先として、ドイツのフライブルグおよびウルム、そしてスイスのチューリッヒを訪れました。そこで、エコ住宅街、公共交通システム、建築技術、林業、バイオエネルギー村について現地の方々から話を聞き、見学しました。すべてに共通することは、“自然エネルギーを上手に利用し環境に配慮する”ことです。７日間、非常に充実した研修であり、この学びを生徒たちの今後の学業や進路に活かしていくことを期待します。

<開成と地域をつなぐ>

12 月 14 日、「開成と地域をつなぐ」をテーマに、２年生が公開プレゼンテーションを行いました。問題の原因分析やアイディアの実現に向けての論理的な思考の方法を学び、聞く人を説得するという国語科の課題です。各チームから選ばれた６名のプレゼンターが、聴衆を前に堂々と訴えかけました。感想の一部をご紹介します。

- 各々が問題点の抽出や将来の展望を踏まえての提言で素晴らしいと思いました。質問に対しても、きちんと考えているからこそ即答できるのだなと思いました。
- 地域の人たちにも今日の内容を聞いて興味を持ってくれる人は多いと思います。今日の話を実現できるように今後も続けて活動していってくれることを希望します。
- ただその活動をしたいからするのではなく、なぜその活動をするのか、その意味とは何なのか、というのが考えられていた。活動の例も具体的で、面白かった。

<今後の主な行事予定>

1 月

27(金)4h 授業(完全下校)

2 月

2(木)4h 授業(完全下校)
4(土)Ｌセミナーサタデー
10(金)歩くスキー(1 年)スケート(2 年)
13(月)家庭学習日
16(木),23(木),28(日)諸活動停止(全学年)
16(木)～28(日)諸活動停止(4,5 年)
18(土)Ｌセミナーサタデー
23(木)～24(金)定期考査(4,5 年)
27(月)～28(火)定期考査

<市長講演～冬季五輪招致へ向けて～>

平成 29 年３月に 55 年の歴史に幕を閉じる札幌開成高等学校。12 月 21 日に「2026 冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指して」と題して秋元市長の講演が行われました。2026 年冬季オリンピック・パラリンピックの招致へ向けた本市の取組を紹介していただくとともに、開成で学んだ生徒たちが国際的に活躍するグローバルリーダーとして未来の札幌を支える人になってほしいという熱いメッセージを贈っていただきました。そして、この日は今年度全校生徒が集まる最後の日となりました。

【お礼の言葉】　生徒会長　千葉卓哉

４年に一度行われているオリンピック・パラリンピックについて、起点や意義などは気にも留めたことがありませんでしたが、どちらにも価値が存在していることを初めて知りました。また、オリンピックがどれだけの地域活性化につながり、街が発展していくかが、1972 年冬季札幌オリンピック大会より、わかりました。2026 年冬季オリンピック・パラリンピックは、札幌市の未来を創り上げるだけではなく、ウィンタースポーツ王国北海道を世界にアピールする事が出来る、この上ない機会だということもわかりました。

2017 年冬季アジア大会と 2026 年冬季オリンピック・パラリンピックで大いに札幌、北海道が盛り上がるために、私達に何ができるのか。今回の公演を基に考えていきたいと思います。